

秋田市観光消費額調査業務委託公募型プロポーザルに関する質問および回答

No.	質問内容	回答
1	<p>仕様書「4 業務内容 > (2) アンケート調査の実施 > エ 調査方法」において、「対面およびWEB上のアンケートフォームによるものとする」との記載がございます。 本業務における「対面」が指す具体的な手法について、以下のうち貴市の想定に近いものはどれにあたりますでしょうか。あるいは、これら以外の意図がございましたらご教示いただけますでしょうか。</p> <p>① 現地での呼びかけ+WEB回答方式 調査員が現地（観光スポット等）で対面にて調査協力の呼びかけを行い、回答者自身のスマートフォン等でQRコードを読み取ってもらい、WEBフォーム上で回答を完結させる手法。 ② オンラインによるインタビュー方式 WEB会議システム等を利用し、画面越しに直接対話形式で聞き取りを行う手法。 ③ 現地での対面インタビュー方式 調査員が現地に赴き、回答者に対して直接口頭で聞き取りを行い、調査員が回答を記録する（または紙の調査票に記入してもらう）手法。</p>	<p>本市が想定する「対面」に最も近い手法は、「③現地での対面インタビュー方式（調査員が現地に赴き、回答者に対して直接口頭で聞き取りを行い、調査員が回答を記録する、又は紙の調査票に記入してもらう手法）」となります。</p> <p>ただし、本業務では仕様書「4 (2) エ調査方法」に記載のとおり、スマートフォン等からアクセス可能なQRコードを用いたWEBアンケートの併用も想定しており、調査員が現地で対面で調査協力を呼びかけ、回答者自身の端末からWEBフォーム上で回答する「①現地での呼びかけ+WEB回答方式」を実施・提案いただくことを妨げるものではありません。また、①と③の併用での実施も可能です。</p> <p>調査対象者の属性（外国人観光客や若年層など）や回答者の負担軽減の観点から、回答数向上とデータ精度が見込める効果的な手法をご提案ください。</p>
2	<p>仕様書4(3)観光消費額単価の推計 「年間消費額単価」とは、特定の個人の年間総額ではなく、「1年間分の調査データをすべて合算して出した、1回の観光あたりの平均単価（一人当たり）」という認識で合っておりますでしょうか？ 例えば「県外からの宿泊客」の場合、以下のような計算イメージです。 【計算のイメージ】 第1四半期： 回答100人、消費額合計 500万円（平均50,000円） 第2四半期： 回答200人、消費額合計 1,200万円（平均60,000円） 第3四半期： 回答100人、消費額合計 500万円（平均50,000円） 第4四半期： 回答100人、消費額合計 300万円（平均30,000円） ➡ 年間の推計： 1年間の合計 2,500万円 ÷ 合計 500人 = 年間消費額単価：50,000円（一人当たり）</p>	<p>本業務における「年間消費額単価」は、特定の個人の年間消費総額ではなく、お示しいただいたとおり「1年間分の調査データをすべて合算して出した、1回の観光あたりの平均単価（一人当たり）」を想定しております。</p> <p>推計にあたっては、全体の平均単価のみならず、「宿泊（市内、県内、県外）」および「日帰り（市内、県内、県外）」などの属性区分ごとにも同様に年間消費額単価を算出していただくことも想定しております。</p>